

わしたしまの情熱キーパーソン



行政の人たちと地域みんなが一緒になって動けば、地域はより快適に、もっとハッピーに。このコーナーでは、そんな地域づくりに取り組む地域住民と行政担当者の「協働」について紹介していきます。

与那原町

地域住民に講師を依頼。子どもたちが安心して体験活動ができる拠点を作る

与那原町では、町内の小学校や「ミニユニティセンター」を拠点とする「きら☆きらり子ども教室」事業を平成十六年度から実施しています。

「最近はお親が共働きで、子どもが学校から帰っても家に誰もいない、という家庭環境が多く見られます。同事業では地域住民の協力を得て、放課後や週末に小学生を対象としたさまざまな体験活動ができる拠点づくりを目指しています」と町教育委員会生涯



「体験学習(環境教育)プログラム」ではゲームを通して生き物の生態系に興味を持たせます。この日は「色探しゲーム」で身近にある自然に目を向けさせました。



体験学習(環境教育)プログラム講師の枇杷木優子さんと子どもたち

講師は専門知識や技能を有する町内の住民に依頼。手芸や料理、パウンドテニス、伝統芸能など、子どもたちの喜びそうな多彩な講座を開催しています。

今年度の同事業のコーディネーターを務めている富永澄子さんは「コーディネーターに就任すると、まず生涯学習振興課の担当と相談しながら年間スケジュールを組み、講師の依頼や日程の調整などを行います。各講座の講師は一人ですが、子どもたちが安心して講座に参加できるように、一講座につき、講師を補助する安全管理委員が二人つきます。実は、私自身も子どもがパウンドテニス教室に参加していた折、安全管理委員を依頼されたのが



与那原町教育委員会 生涯学習振興課
コーディネーター
富永澄子さん 辺土名彬さん 仲里大基さん

与那原町教育委員会 生涯学習振興課
TEL:098-835-8220

きっかけで、同事業に積極的にかかわるようになりました」と話す。

同教室の講座の一つ「体験学習(環境教育)プログラム」の講師を務める枇杷木優子さんは、公民館まつりなど地域の活動に関わっているうちに、その専門知識が知られるところとなり、講師を引き受けることになったそうです。「一緒に環境教育プログラムを学んだ仲間の声をかけて、安全管理委員になってもらいました。身近な自然を通して、子どもたちに楽しく学んでほしいですね」と枇杷木さん。

行政と地域住民が協働で、子どもたちの健やかな成長を見守っています。

北中城村

「村民提案制度」を実施し、村民と行政の協働によるまちづくりを推進する

北中城村は、村民と行政の協働によるまちづくりの推進を目指し、村民から政策や事業などの提案を受ける「村民提案制度」を本年度からスタートしました。

新垣邦男村長は、「ある懇談会の席で住民の方から『十万〜二十万円もあれば自分たちで地域づくりができる』という話があり、行革による予算の削減ばかりでなく、村民に夢や希望を与えることも必要だと気づかされました」と、同制度を提案するにいたった経緯を語ります。



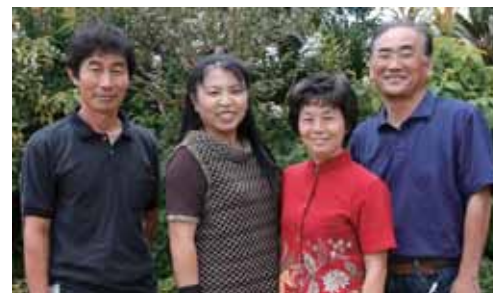
企画開発課 池田智恵美さん 新垣邦男村長 企画開発課 仲本善通課長

同制度は県内初の実施であり、村が課題を出す「課題提案」と、村民からの提起による政策・事業・公益上の課題解決のための「自由提案」、村民の自主的なまちづくり活動などでモデル的または独創的な「活動支援事業提案」の三種類からなります。民間から選任された委員で組織される村民提案審査委員会が審査を担当。「活動支援事業提案」の対象事業に決定されると、一団体あたり三十万円を限度として活動支援金が交付されます。「募集から事業報告までを村広報誌やホームページなどで公表しています。それを見て『自分たちもできることを考えてみよう』と、多くの提案が出てくることを期待しています」と同村企画開発課の仲本善通課長。



「大城スージグワ〜週末美術館」には、村内外からたくさんの観客が集まります。今年は11月8、9日に開催予定

本年度の「活動支援事業提案」の対象となった五事業のうちの一つに、大城自治会による「大城スージグワ〜週末美術館」があります。「同事業は今年で六回目。大城区全体を美術館に見立てて、区民や芸術家・県立芸大生の作品を展示します。その他、オープンガーデンや各種団体によるバザーなども実施しています。九月に実行委員を立ち上げるのですが、交付金を活用することで新たな取り組みも期待できます」と同自治会会長の小藪裕延さん。



大城自治会のみなさん。左から
小藪裕延会長、新垣公子さん、新垣浩子さん、新垣正良さん

北中城村役場 企画開発課
TEL:098-935-2233

沖縄県広報誌 平成20年10月1日発行第32巻10号通巻397号

美ら島沖縄

企画・編集・発行 沖縄県知事公室広報課
〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2
TEL.098-866-2020

■表紙 写真・文：今泉 真也
運動会のシーズン、街のあちこちから歓声が聞こえる。ナンギだった行進、好きだった他のクラスの子、おもしろかったお弁当。よみがえる記憶に、心の奥がこぼれゆく風景。

■P12-P13 季節情報提供
(財)沖縄観光コンベンションビューロー



秋です。ね、すこしやすしい季節になりました。季節の変わり目は体調管理に気をつけていきましょう！

ところで、今月は娘の運動会がありました。毎年、こんなに成長したんだなあ、と、うれしい感動があるイベントです。保護者リレーもありますので、日頃野球で鍛えた足を見せたいと思います。よく盗塁失敗しますけどね。(笑)

秋といえば、旬の食材が多くて食欲をそそられる季節。まさに「食欲の秋」とはよくいったもので、メタボ族の私としては体重計とよろしく向き合うのが怖い季節となってきます。

毎年この季節のはじめには「食べたくなる欲求に打ち勝つぞー」と決心しつつも、気が付いたら、満面の笑顔でご飯おかわり！「こお茶碗を突き出して、いる意志の弱い自分がいります。こ、今年こそは、こ、克服してみせますよ！(信頼度低) (Takko)